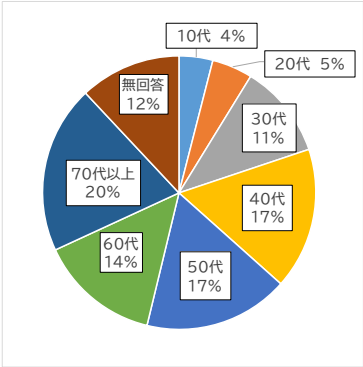


令和6年度 食の安全に関するアンケート 集計結果

1 アンケート回答構成者について

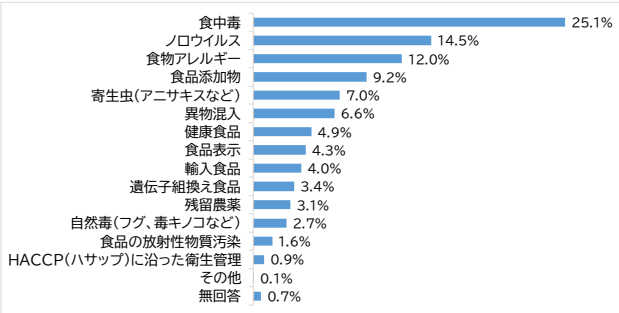
項目	回答数	構成比
10代	253	3.3%
20代	301	4.7%
30代	704	10.7%
40代	1057	16.5%
50代	1085	16.9%
60代	903	14.4%
70代以上	1259	20.9%
無回答	758	12.5%
計	6320	100.0%



2 設問について

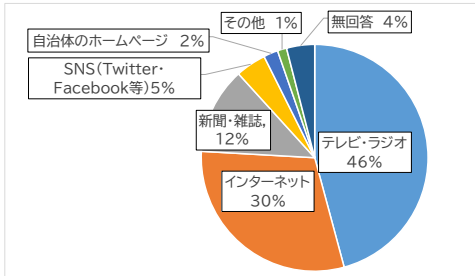
設問1 食の安全について関心のあることは何ですか？

項目	回答数	構成比
食中毒	4345	25.1%
ノロウイルス	2489	14.5%
食物アレルギー	2078	12.0%
食品添加物	1588	9.2%
寄生虫(アニサキスなど)	1212	7.0%
異物混入	1139	6.6%
健康食品	817	4.9%
食品表示	733	4.3%
輸入食品	673	4.0%
遺伝子組換え食品	577	3.4%
残留農薬	525	3.1%
自然毒(フグ、毒キノコなど)	471	2.7%
食品の放射性物質汚染	271	1.6%
HACCP(ハサップ)に沿った衛生管理	157	0.9%
その他	15	0.1%
無回答	113	0.7%
計	17203	100.0%



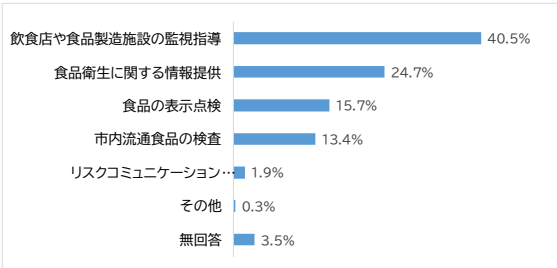
設問2 食の安全に関する情報は、主にどこから入手していますか？

項目	回答数	構成比
テレビ・ラジオ	2895	49.1%
インターネット	1906	27.9%
新聞・雑誌	779	11.6%
SNS(Twitter・Facebook等)	275	4.0%
自治体のホームページ	130	1.8%
その他	80	1.2%
無回答	255	4.4%
計	6320	100.0%



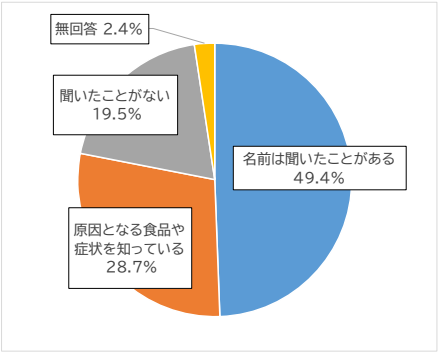
設問3 食の安全に関して横浜市保健所に最も期待する業務は何ですか？

項目	回答数	構成比
飲食店や食品製造施設の監視指導	2577	40.5%
食品衛生に関する情報提供	1536	24.7%
食品の表示点検	1015	15.7%
市内流通食品の検査	839	13.4%
リスクコミュニケーション(シンポジウムや情報交換会の開催)	126	1.9%
その他	22	0.3%
無回答	205	3.5%
計	6320	100.0%



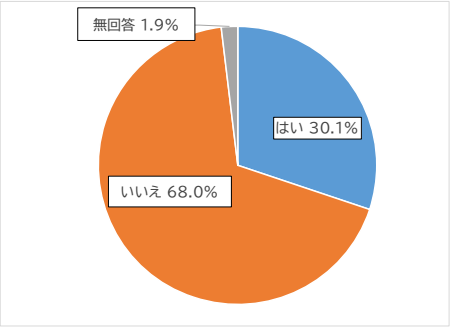
設問4 「カンピロバクター食中毒」を知っていますか？

項目	回答数	構成比
名前は聞いたことがある	3099	49.4%
原因となる食品や症状を知っている	1862	28.7%
聞いたことがない	1219	19.5%
無回答	140	2.4%
計	6320	100.0%



設問5 生や加熱不十分の鶏肉(例:鶏刺し、鶏のタタキ、鶏わさ、中まで火の通っていない焼鳥など)を食べたことがありますか？

項目	回答数	構成比
はい	1934	30.1%
いいえ	4277	68.0%
無回答	109	1.9%
計	6320	100.0%



設問6 生や加熱不十分のお肉(特に生や加熱不十分な鶏肉料理)を食べることで、カンピロバクター食中毒を発症することがあります。今後、生や加熱不十分の鶏肉料理を食べたいと思いますか。

項目	回答数	構成比
はい	900	14.0%
いいえ	5249	83.1%
無回答	171	2.9%
計	6320	100.0%

